

# カーボン・オフセット普及推進母体の活動

(エコライフ・フェア2011アンケート含む)

# カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)

カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)は、「カーボン・オフセット」を通じて我が国を低炭素社会にシフトすることを目的として、志を同じくした企業・NPO・自治体の参画により設立しました。



＜目指す“あるべき姿”＞

- カーボン・オフセットの取組件数拡大
- 社会におけるカーボン・オフセットの正しい理解の定着
- 健全かつ活発なカーボン・オフセットの市場形成

＜H23年度の取り組み；キーワード＞

企業向けセミナーの開催	カーボン・オフセットプレイヤーの育成
Webによる情報展開	消費者/ユーザーに向けた活動

## ● 企業向けセミナーの開催

会員企業・自治体およびカーボン・オフセットの取組に関心のある企業へ、①カーボン・オフセットの活性化、②地域とのつながり、③CSRとしての活用およびCSR活用をきっかけとしたカーボン・オフセットの発展性等について、セミナーや委員会活動を通じた情報提供を行っています。



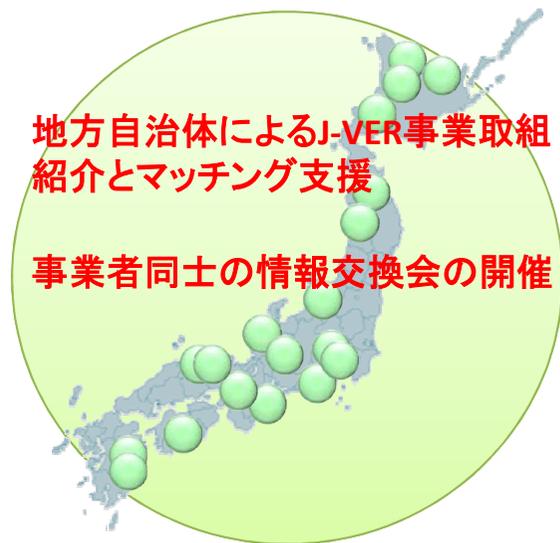
### カーボン・オフセットの活性化

カーボン・オフセット取組事例紹介による効果・課題、それぞれの抽出と共有

カーボン・オフセットに係る制度、ガイドラインに関する勉強会の開催

J-VER方法論、プロジェクトの理解を目的とした勉強会の開催

### 地域とのつながり



### CSRへの活用・発展性

(H21年度開催)  
**低炭素ビジネスの情報発信とマーケット・コミュニケーション**  
 ＜プレゼンター＞  
 (株)ローソン  
 (株)電通  
 (株)川島織物セルコン

(H22年度開催)  
**環境価値と顧客との接点を考える**

＜プレゼンター＞  
 ダノンウォーターズオブジャパン(株)  
 (株)ジェー・シー・ビー

## ● Webによる情報展開

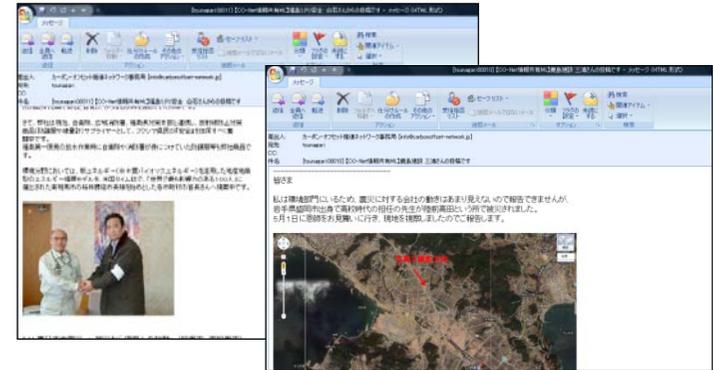
### カーボン・オフセットDatabaseの公開

CO-Net会員によるカーボン・オフセットの取組事例をHP上で一般公開。  
取組事例には、CO-Net会員内のカーボン・オフセット取組企業とJ-VERプロジェクト事業者のマッチング事例も数多くあります。  
[http://www.carbonoffset-network.jp/tools/c\\_slide.html](http://www.carbonoffset-network.jp/tools/c_slide.html)



### 東日本大震災をきっかけとした会員同士の取組

震災復興に向けて、CO-Net会員がとりむ事業を、お互いに情報共有する場として、復興支援プロジェクト・メーリングリスト“tsunagari”をスタートさせました。会員それぞれが実施している復興支援の取組が紹介されています。



## ● カーボン・オフセットプレイヤーの育成

カーボン・オフセット普及の担い手となる企業の実務担当者向けに、カーボン・オフセット講座を開催します。

カーボン・オフセット  
基本の『き』公開講座  
(H21~H22実施)



カーボン・オフセット  
コーディネーター養成講座/  
アドバイザー養成講座  
(H23夏以降開催予定)

カーボン・オフセット コーディネーター養成講座	カーボン・オフセット アドバイザー養成講座
カーボン・オフセットに関する基礎的な知識を身につけており、社内等で説明ができる人材を養成するもの。例えば、企業の環境部門の担当者を想定。	カーボン・オフセットを業務として一通り遂行できる人材、社内のカーボン・オフセットリーダーを育成するもの。

## ● 消費者/ユーザーに向けた活動

### カーボン・オフセット理解促進チームの活動開始（今年度予定）

「取組の分かりやすさ」「受け入れやすさ」をポイントとして、顧客や一般消費者に対してカーボン・オフセットを分かりやすく伝える方策の検討を行います。

- アイデアの整理
- パンフレット・の検討・作成
- 教育教材の検討・作成

### イベントへの出展

地域や市民の環境イベント等に参加し、カーボン・オフセットの説明、取組事例、カーボン・オフセットの商品・サービスの紹介等を行っています。



エコプロダクツ2010へ出展

## カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)

『カーボン・オフセット』に関する正しい理解の拡大と普及啓発、カーボン・オフセットに関する相談や支援を行うプラットフォームとして設立された。

カーボン・オフセットに関心のある市民、企業、NPO、自治体など幅広い主体を対象にカーボン・オフセットに関する包括的な情報提供を行っている。

カーボン・オフセットフォーラム  
Japan Carbon Offset Forum (J-COF)

### 【今年度のJ-COFにおける推進ターゲット】

温室効果ガスの排出削減のための一つの手段としての『カーボン・オフセット』に係る仕組みと機能を広く啓発することで、一般を含む『カーボン・オフセット』の国内認識度の向上と標準化を図る。

### 【H23年度の主要取り組み】

#### 1) J-COFのWEBサイトの運営

- ✓ 閲覧者のレベルに合わせた構成内容の検討
- ✓ GHG排出量算定のための簡易計算ツールの掲載
- ✓ 関係者インタビュー掲載  
(CO認証事業者、J-VER創出事業者、あんプロなど)
- ✓ 各イベント情報の掲載、専門家等の講演映像紹介
- ✓ 市場動向調査結果の掲載

#### 2) J-VER制度のWebサイト運営

- ✓ 新着情報・関連ニュースの提供
- ✓ 制度理解を支援するための資料および映像の提供
- ✓ 制度文書一覧  
(方法論、様式一覧、モニタリング方法ガイドライン)
- ✓ 妥当性確認・検証機関に関するリストと情報の掲載
- ✓ 各スケジュール情報の掲載
- ✓ プロジェクト一覧
- ✓ 検討会・委員会(審議された資料や内容の公開)
- ✓ J-VER登録簿の掲載(オフセット・クレジット登録簿)
- ✓ FAQの掲載(J-VER制度と方法論)

#### 3) 広報啓発資料の作成およびイベント等への出展

##### ✓ パンフレット(小冊子8種類の作成)

- ⇒ ①誰でもできる地球温暖化対策！～カーボン・オフセット(3種類)、②世界のカーボン・オフセット(国内外のカーボン・オフセットの動向)、③オフセット・クレジットの誕生、④オフセット・クレジットの役割とその生涯(総集編)、⑤優良取組事例紹介

##### ✓ 説明用パネルのコンテンツ(A1サイズ、4種類)

- ⇒ ①カーボン・オフセットの事例、②国内外のカーボン・オフセットの動向、③J-VER制度、④温室効果ガス削減の包括的な取り組み事例

##### ✓ 教育資料およびツールの作成

- ⇒ ①視聴覚教材(DVD)の作成(一般向けと小中学生向けの2種類)、②カーボン・オフセットを体感できる模型やゲーム作成

### 3) 広報啓発資料の作成およびイベント等への出展

#### ✓ 環境関連イベントへの出展

(カーボン・オフセットに係る普及啓発)

- ・エコライフ・フェア2011
- ・エコマニュファクチャー
- ・エコプロダクツ



### 4) ワークショップ、セミナー、イベント等の開催

✓ **カーボン・オフセット  
実践ワークショップ**  
(札幌、東京、名古屋、  
大阪、福岡を予定)



✓ **マッチングイベント  
(COEXPO)**  
(札幌、東京、名古屋、  
大阪、福岡を予定)

✓ **J-VER制度全国説明会**  
主要都市8か所(上記5会場  
+高知、岡山を予定)



### 5) カーボン・オフセットに関する国内動向調査

#### ✓ 情報収集方法の検討

⇒ インタネット検索/文献検索、民間企業・関連団体  
/ J-COFアドバイザーへのインタビュー、国内外  
における会議等への参加

#### ✓ 海外訪問先・調査対象

⇒ The Verified Carbon Standard (VCS)  
The Gold Standard for VERs  
Climate, Community, and Biodiversity Standards  
The Climate Action Reserve Protocols (CAR)  
PAS2060

#### ✓ 関連書籍資料の翻訳

カーボン・オフセットや排出量取引制度に関連する文書

### 6) カーボン・ニュートラルに関する指針作成および既存の カーボン・オフセットの指針およびガイドライン類の見直し

### 7) J-VER創出地域支援委託業務との連携 によるプロジェクト事業者の円滑化

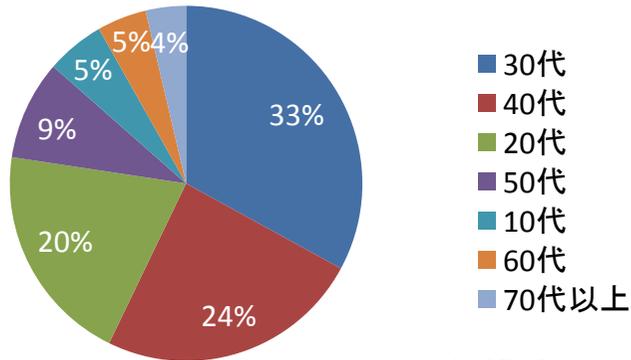
#### ✓ 地域事業の進捗情報管理の具体的な取りまとめ

⇒ ①案件発掘の進捗状況、②地域協議会に係る支援  
状況、③J-VER等需要状況に係る情報、④地域事業  
の成果(GHG排出削減/吸収量、雇用創出結果、地  
域産業の活性化)

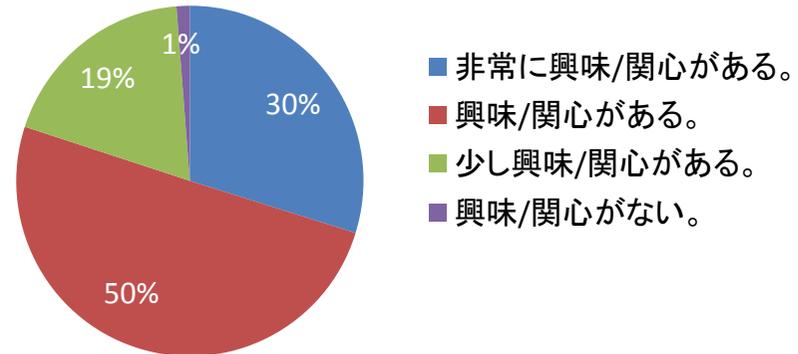
#### ✓ 事業者支援事業者等の採択支援の検討

# エコライフ・フェア2011 アンケート集計結果

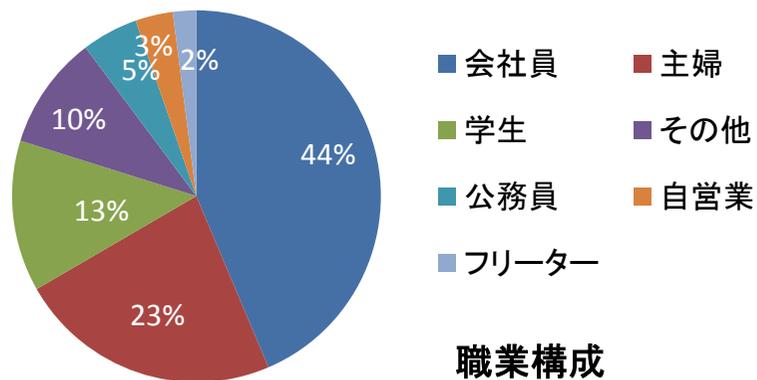
回答数243名、女性55%(133名)、男性45%(110名) ⇒ 環境に関心のある方



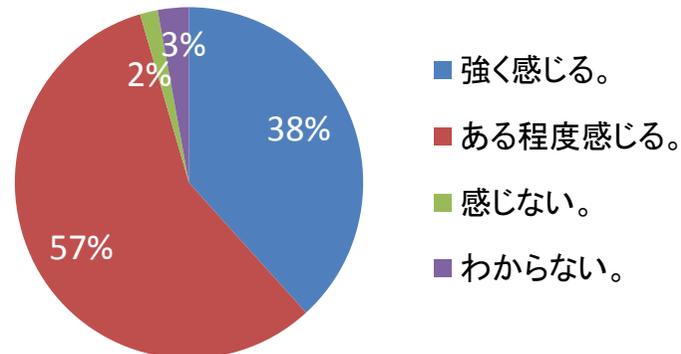
年齢構成  
20代～40代で約80%(188名)



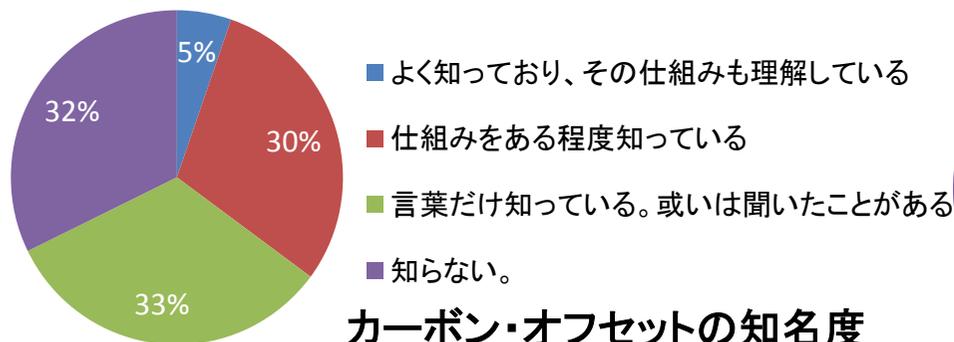
低炭素社会構築への関心  
ほぼ全員99%が興味/関心あり



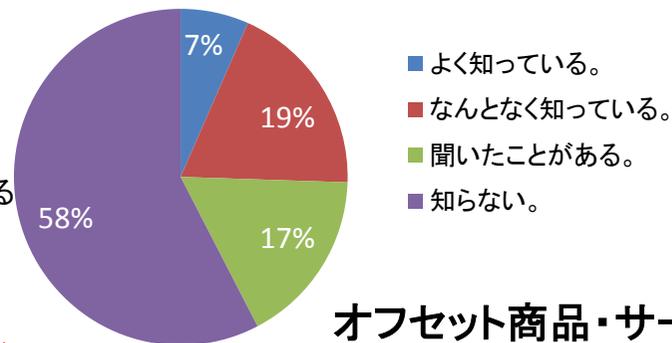
職業構成  
会社員と主婦で約70%(162名)  
子供連れの来場者が目立った



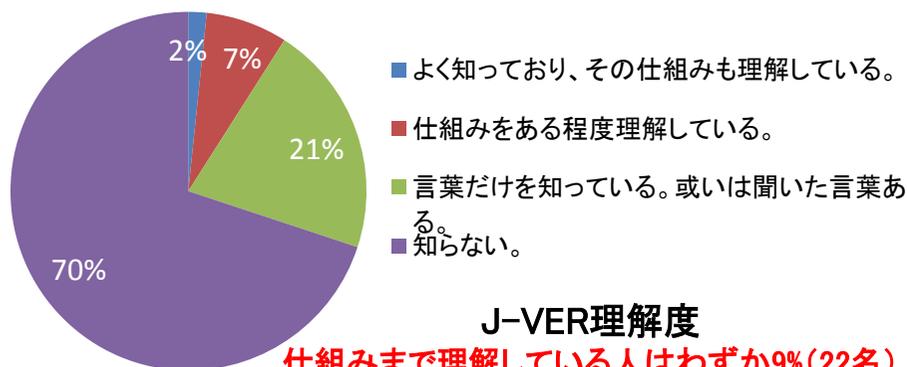
温室効果ガスの排出削減の必要性  
ほぼ全員の95%が興味/関心あり



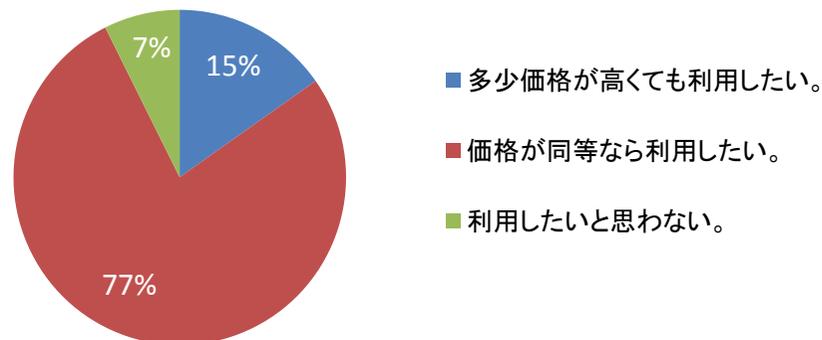
**カーボン・オフセットの知名度**  
 仕組みまで理解しているのは全体の35%程度(86名)



**オフセット商品・サービスの存在**  
 58%(140名)が知らないと回答



**J-VER理解度**  
 仕組みまで理解している人はわずか9%(22名)



**オフセット商品やサービスを利用しますか？**  
 約93%(225名)が利用すると回答

### 【アンケート結果概要と印象】

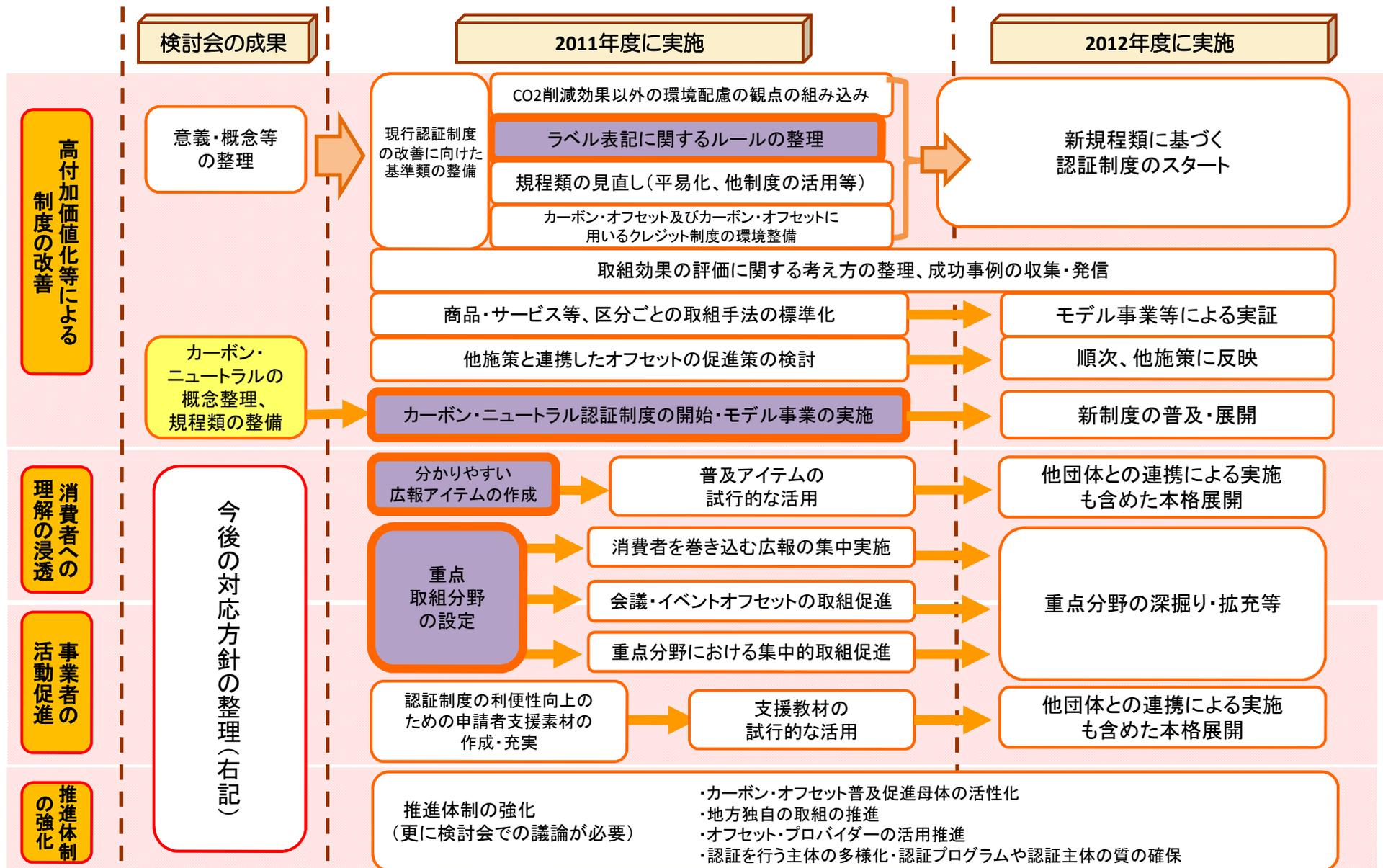
- ・回答者は比較的、環境に関心の人々と考えられる。
- ・低炭素社会の構築に向けた温室効果ガス削減意識はあるものの、削減努力後の一つの手段である『カーボン・オフセット』、更に国内で創出されるJ-VERの存在を知る人は少なかった。
- ・オフセット商品やサービスを利用することで、個人消費者としてもカーボン・オフセットに参加できると理解している人々も少なかった。
- ・これらの商品をできれば利用したいとする人が多いが、その一方、カーボン・オフセット費用については価格に対する何%という割合よりも数十円～数百円程度までなら支払えると考える傾向にあった。
- ・カーボン・オフセットに関連する一般へ理解を育む普及啓発活動とその仕組みを検討する必要がある。

J-COF調べ

# 工程表

# カーボン・オフセットの取組の活性化に向けた工程表

取組の活性化に向け、2011年度においては、国民の認知度の向上に効果の高い取組を重点的に進めるものとする（図中の     ）。



\* 活性化方策の効果的・効率的実施のため、継続的に必要な調査・分析を行う。  
 \* 東日本大震災からの復興の過程における役割についても考慮しつつ上記取組を進める。